

第3号議案 平成 25 年度 活動計画と予算

平成 25 年度(2013 年度) 活動計画

自 平成 25 年 4 月 01 日 至 平成 26 年 3 月 31 日

日本プロフェッショナル・エンジニア協会 JSPE は、2000 年 9 月創設から 14 年目を迎えます。会員数は創設時の 120 名から約 360 名に増え、財政基盤も歴代理事会の献身的努力により安定しています。昨年 6 月の年次総会では、会員より「震災以降増したエンジニアへの不信を払拭する社会発信を」「英語での対外発信を」「CPD セミナー、エンジニアサロンの再活性化を」等の要望が聞かれました。

不況下でも PE/FE 試験の受験者数及び合格者数は漸増傾向ですが、その一方米国基準の学歴評価等により PE 試験合格者が米州 PE 登録になかなか辿り着けないという課題があります。

JSPE は米国 PE ライセンスを保有するあるいは保有を目指す主として日本居住者の団体ですが、米国 PE ライセンスは日本では何ら法的位置付けがありませんので、われわれ自身の国内外での存在意義を常に明示していく必要があります。

以上のような状況を鑑み、今年度は次の方針を掲げて活動を展開していきます。

1. 会員の価値向上 Global Value to member engineers

- 従来以上に CPD セミナ及びプロジェクトマネジメントセミナ を展開する。
- 地方、海外会員へのサービスを向上する。WEB セミナ開始も検討する。

2. エンジニアという職業の社会認知度向上 Public recognition of engineering profession

- エネルギーエンジニアリングに関する意見交換を行う。
- 会員の PE 活用体験談を収集し、会員間で共有する。
- JPEC (日本 PE・FE 試験協議会)とも連携し、PE ライセンス制度を対外発信する。
- ホームページのコンテンツを整理し、見易くするとともに、英語化を推進する。

3. PE 制度とその精神の日本での普及定着 Domestic recognition of PE licensure system

- NSPE との交流を継続する。JPEC を介した NCEES との交流も模索する。
- 昨年発行した「PE ハンドブック」の普及を図り、改訂版の発行に備える。
- PE 制度に関心を寄せる国内の団体等との交流を定着させる。
- 米州 PE 登録を目指す会員及び非会員に対し、制度説明等の側面支援を行う。
- 日本版 Code of Ethics の研究など、将来を見据えた制度研究を定着させる。

4. 会としての持続性確保 Sustainability of our society

- 理事会隔月化
- ウェブ会議ツールやソーシャルメディア等を活用した、会員間交流の促進
- 会員数 400 名を目指す。
- 会計ルールの明文化、会計ツールの更新